

令和元年度東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練

11月26日（火）警視庁東京湾岸警察署及び東京港管理事務所主催で、「東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練」を実施しましたので、ご報告いたします。

概要及び訓練内容は以下のとおりです。

- 件名 令和元年度東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練
- 日時 令和元年11月26日（火）
 - 第一部 通報訓練 13時30分から14時00分
 - 第二部 実地訓練 15時00分から16時00分
- 場所 東京ヘリポート内制限区域
- 主催 警視庁東京湾岸警察署
東京港管理事務所
- 協力 東京ヘリポート安全連絡協議会
（一財）航空機安全運航支援センター
（株）エグゼクティブプロテクション
- 訓練内容

第一部の通報訓練では、東京ヘリポート内に不審者が侵入したという想定のもと、東京ヘリポート内の各事業者（隊）及び関係機関と無線及び電話による通報訓練を実施しました。

第二部の実地訓練では、同様の想定で制限区域内に駐機中の機体とパイロット及び現金を要求する犯人を、東京湾岸警察署警察官と東京ヘリポート警備隊の協力のもとに制圧する訓練を実施しました。

また、今回の訓練では、訓練終了後に東京湾岸警察署警備課より、刺又の使い方についての講義を行っていただきました。講義では、刺又の具体的な使い方（力で負けないように相手の肩と脇腹を挟むように使う。）や、刺又そのものにも種類があり、施設によって適する大きさが異なるので設置する際には十分検討が必要であることなどをご教示いただき、参加者の皆様の防犯意識向上に繋がりました。



○関係機関への通報訓練



○人質を取って機体へ近づく犯人役



○犯人役と対峙する湾岸警察署警察官・東京ヘリポート警備隊

訓練終了後は、東京湾岸警察署警備課新井警備課長代理より「警視庁では東京ヘリポートを最重点施設という位置づけにしており、日ごろの警戒警備でご協力いただいています。今後も今回のような訓練を通して警戒警備の徹底を図っていきたくと思います。」と講評をいただきました。また、東京港管理事務所大野所長より「いざというときには、今回の経験を活かして、警察以外の職員が対応することもあろうかと思えます。ただ何か起きた際の基本は警察や保安関係の方々にご協力いただくことが基本です。何か起きたときの連絡体制や情報伝達が重要ですので、それを念頭に置いて今後も東京ヘリポートの安全な運営にご協力いただきたいと思います。」と同じく講評をいただきました。



○刺又の使い方についての講義



○訓練参加者集合写真

東京ヘリポートでは、訓練を通して、東京ヘリポート内事業者（隊）を始めとする関係機関との緊急事態発生時の連絡体制や、所轄警察署との連携を密にし、保安体制の向上を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてより一層ハイジャックやテロ犯罪の防止に努めていきたいと考えています。

最後に、雨が降り寒い中で訓練に参加していただいた皆様、そして訓練用に機体を提供していただきました東邦航空株式会社様に御礼申し上げます。

（東京港管理事務所港務課）